

令和2年度 第2回大和市協働推進会議 会議要旨

1. 日 時 令和2年6月27日(土) 午前11時15分～午後12時05分
2. 場 所 大和市役所 会議室棟 202 会議室
3. 出席者 大和市協働推進会議委員7名
事務局4名(市民活動課長、他3名)
4. 公開非公開の別 公開
5. 傍聴人数 なし
6. 議事
(1)開会
(2)議題
ア 答申作成について
イ 協働事業提案の審議

【大和市民活動センターの管理運営】

(審議)

① 大和市民活動センターの管理運営

- 委 員：PRの面では成功していると思うが、団体とのシナジーの話がみえにくい発表だった。
- 委 員：市民活動センターの役割というのは、高いところにだけでなく、趣味で集まった人たちが一步踏み出すきっかけとしてソフトにつなぎ合わせていけるとよいと思う。
- 委 員：行政がもっと前面に出ていくべきだと思っている。資金的なものだけでなく、特に発信面で行政の力をもっと出してほしいと思う。
- 事務局：趣味から一步踏み出す役割を担う1つの装置として、市としては部室を用意した。新しい公共に対する新たな行政の役割が必要だと思う。
- 委 員：市民活動センターの役割とは、結局コーディネーター。コーディネートをするスタッフの資質が非常に大切で、底上げしてくのが大事。
相談業務については、同じフロアにいる他団体等の方と相談を共有し、連携ができるといいと思う。
- 委 員：これから職を終えて、こういう活動をしようとする方はある程度スキルを身に付けていると思う。この中で世代交代を促していくということが重要ではないかと思う。
- 委 員：相談のケース会議をしてスタッフを育てることが大事。そうすれば、コーディネートの役割を果たせるようになってくると思う。
- 委 員：職員体制、今の体制にかなり無理があるように思う。いい意味での遊軍がない。
- 会 長：今の関連で、行政の方で、求める水準と事業費との関係で何かコメントはあるか。
- 事務局：現在の体制が十分とは言えず、確かに事業費もだが、提案者にとっては新しい人を受け入れることが重要。
- 委 員：コワーキングスペースには、入居している団体が掲示板で情報交換ができるようなところがある。一緒にできそうなことがあったら、コンシェルジュの方を通して一緒にやる。そういう仕組みも一つの手法ではないかと思う。

委員：相談が少ないということだが、情報発信した中で、いかに反応してもらえるのかという考え方で活動してもらったほうがよいのではないか。

勤労福祉会館がなくなることで、ベテルギウスの会議室使用も増えてくるのでは。活動の場を失った人たちへなんらかの働きかけを拠点やまことや市民活動課で行うのか。

事務局：勤労福祉会館の利用団体に声をかけるのはいいアイデアだと思う。また、コワーキングスペースについては、ベテルギウスを作る時に、そのようなコンセプトを我々も持っていた。提案者に相談したい。

委員：団体として後任を育てていかななくてはいけないと思う。ある程度の給料を出さないと若い人は関わってくれない。後任や人材は、ボランティアだけでは育たない。

会長：事業費については、行政が努力するというのをこの会議で話すという方向なのか。

事務局：基本的には、運営の在り方は会議で、事業費についてはご意見があれば私達も努力させていただくということになる。

委員：新しい人を入れるのはもちろんだと思うが、常勤で生活をかけてやるのはレベルが高く、躊躇する。学生ボランティアではなく、サポートのスタッフとして、アルバイトとして一時的に一緒に活動していただくような視点もあっていいのではないか。

委員：この団体は定款とか規約で代表がどのように決定されるか決まっているのか。

事務局：組織の形としては任意団体である。互選で会長を決めている。

会長：事業の性格上、打ち切りとか不採択というのはあり得ないと考えているが、協働事業として採択をするという方向で確認したい。それでよいか。

委員全員：了承

会長：今日出たのは、足りない部分にどうアプローチしていくかということだと思う。委員の意見を踏まえて、事務局で一度まとめて返す作業を入れるという進め方でよいか。

委員全員：了承

(3) その他

-次回開催日程 7月31日(金) 13時30分～

(4) 閉会

以 上